

国立研究開発法人土木研究所 任期付研究員 公募 (橋梁構造研究グループ 研究員)

職 名：橋梁構造研究グループ 研究員（3年間）
（最大5年まで任期を延長する場合があります。）

勤務場所：国立研究開発法人土木研究所 構造物メンテナンス研究センター
（茨城県つくば市）

募集人員：1名

着任予定時期：平成31年4月1日以降のできるだけ早い時期

応募締切：平成30年6月29日（金曜日）17時必着

定年制の職員へ登用する制度：本公募は本人が希望する場合には任期中の研究業績を審査し、定年制の職員へ登用する制度を適用することとしています。

募集の背景：

信頼性の高い劣化要因の判断や効果的な対策の判断を行えるよう、これまで技術者の暗黙知により行われてきた診断とそれに至る原因究明のプロセスを言語化することで、診断・措置の支援・効率化と信頼性向上が必要とされている。具体的には、臨床研究や供試体実験等を通じて、判断の根拠となる重要な要因を AI により選別することで、診断・措置の支援・効率化と信頼性向上が期待されている。

既設橋基礎の精度の高い耐震性評価技術が必要とされている。基礎が有している実力を精度よく評価し、合理的な耐震評価、耐震対策が実施できるようにすることが重要である。

ゴム支承は近年普及が進んでいるが、その耐久性評価方法は十分確立していない。ゴム支承における劣化要因とその現象を解明し、ゴム支承の耐久性に関する品質管理方法を確立することが求められている。

職務内容：

- ・コンクリートに生じるひび割れの構造的要因や材料的要因の峻別方法の提案
- ・被災後のコンクリート部材の外観変状からの負荷履歴の推定方法の提案
- ・橋梁基礎を含めた各部材の耐荷力照査方法の提案
- ・ゴム支承の耐久性を定量的に評価するための試験方法とその試験結果の評価手法の提案

応募条件：1) 博士の学位を有する者。
2) コンクリート構造又はゴム支承の耐荷性能又は耐久性能に関する専門知識ならび

に研究実績を有する者（耐荷性能及び耐久性能の両方に関する専門知識を有することが望ましい）で、査読付論文を3編以上発表している者。

- 3) 業務遂行に必要な日本語能力を有する者。
 - 4) 国際会議で論文を発表している者。
 - 5) 上記職務内容に熱意をもって取り組むことができる者。
- 上記1)～5)を満たすことを条件とする。

待遇：※平成30年5月現在

- ①勤務日・勤務時間：月～金曜日 8:30～17:15（フレックス制度あり）。
- ②給与：当所規定による。（初任給は経験年数等による。）
月額 381,640 円～455,880 円
（俸給及び地域手当を含む（過去の実績））
この他に通勤手当、時間外勤務手当等を支給
ボーナス(賞与)は年2回(6月、12月)
- ③空きがある場合には、公務員宿舎へ入居可能。
- ④年次休暇：採用年は15日（平成31年4月1日採用の場合）、翌年からは20日。
20日までは翌年に繰り越し可能。
- ⑤特別休暇：夏季休暇3日間、他規程あり。

選考方法：書類審査(一次)、面接(二次)に基づき、応募条件を満たすものの中から、応募条件に掲げた知識・研究経験、研究目的の理解度、研究意欲に最も優れた者を選考する。なお、面接は7月上旬頃に土木研究所（茨城県つくば市南原1番地6）にて行う。

提出書類：様式自由、書類は全てA4サイズ、

- (1)履歴書
- (2)業績書
- (3)卒業証明書（最終学歴）
- (4)成績証明書（最終学歴）
- (5)研究論文リストと代表論文3編
- (6)業務に関する本人の抱負（1000字以内）。

なお、応募書類は返却しません。

書類提出先、問合わせ先：

〒305-8516 茨城県つくば市南原1-6

国立研究開発法人土木研究所 企画部研究企画課 西村

封筒に「橋梁構造研究グループ 任期付研究員応募書類在中」と明記の上、書留で郵送のこと

TEL:029-879-6751

E-mail:kikaku@pwri.go.jp

以上